

花には太陽を 子には平和を



ぐるみえん



発行第256回 R.6. 9.27 広報委員会 小金原保育の会 幼児教室

ぐるみえん

市長懇談

ぐるみえんの歴史を実感できるいい機会でした

松戸市役所に伺ってきました!!



感謝や要望を直接伝えられるととても良い結果でした。たくさんの方々がぐるみえんを気にかけてくださっていることを実感できて、いち保護者として嬉しかったです!

日頃の感謝やこれからの支援のお願いを直に伝えられてよかったです。とても緊張しましたがとてもいい体験できました!!

今年も本紙の市長にお時間をいただき、フレッシュな顔ぶれでお話を伺ってきました。

市長がぐるみえんのことを松戸市にとって大切だと話してくれて、本当にうれしかったです! さんどう会で1年くらい、やらせてくれた実現できてうれしいです。



令和6年8月5日(月)

今年度も市長懇談の機会をいただきました。在室の皆さんと一緒に市長へ伝えたいことを話し合い、当日は保育者・事務局長・保護者合わせて29名で市役所を訪問しました。

はじめに、市からの補助や5月に幼児教育課の方による土手の介助復、さらに今年初めて幼稚園オンライン合同説明会への参加枠をいただき等、数々のご支援に感謝の思いを伝えました。そして、保育者からはどのようなお話、保育をしているのかを伝え、保護者からは外遊びをやる中で感じた自然の大切さ、家では体験させることがなかなか難しい日本の伝統行事、保育者の一人ひとりに寄り添った保育において子どもたちがのびのび過ごせる環境、それが全て詰まっているぐるみえんが子どもや保護者にとっていかに大切かを話しました。

最後に、10月のさんどう会(10/1食い、競走への参加のお話をしました!) 来年50周年を迎えること、その式典にお越しいただきました。首をお伝えし、この大切な園が続いていくよう、継続したご支援をお願いしました。今回の市長懇談を通して、今までたくさんの方々の尽力があったことを改めて知り、また、今年もぐるみえんが市の良き関係の中で存続していくことを願っています。(会長 板橋 聡子)



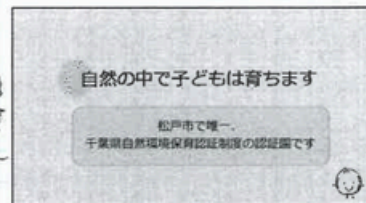
松戸市私立幼稚園オンライン合同説明会

R.6.9.13~9.14(土)

に初参加

ぐるみえんは9/14(土) 11:00~の回に参加しました。持ち時時間は30分間、有りました。

- 本日の流れ
- はじめに
ぐるみえんの保育について
 - 11:15~
保育時間や保育料についてなど
 - 11:20~
在園中の保護者からの声



これまで、担当課へ参加の申し入れをしてきたが、今年度、ついに実現したのはこびとなりました。

松戸市の「子育てガイドブック」(松戸市子ども政策課より発行)にも「ぐるみえん」が掲載されています。公共施設にてお手にとって御覧になれます。



お母さん方も参加して出陣してくださいました

うさぎぐみの特別な日

言十画

「どんなことがしたいかな〜」の問いかけから、何回もの話し合いが子ども達の間でありました。

- おばけ屋敷を作ろうよ!
- 動物園に行こうよ!
- 海に行こうよ!
- 洞くつを探そうよ!
- バスに乗っていいのよ〜
- 21世紀の森の奥には木がたくさんあるんだよ〜!
- じゃあ、木のたくさんあるところに行こうよ!
- 松戸には洞くつはないからいいよ〜



当日は雨が降る回数も多く、それでもしっかりと歩きました。

雨でも入っちゃおう!

子どもたちの各々の思いが少しずつ一つの言十画にまとまっていく... そこまでには、子どもたちの中でも様々な葛藤があったようです。母親たちの間でも日々、子どもから聞く言十画が変わっていくので、何に決まるかワクワクする日々が続きました。

グループ作り

リーダー・副リーダーを立候補で決めます。その他にも、求女、おやつ係



旗作り

「迷子にならないようにするにはどうしたらいい?」

おやつ係、リーダー、副リーダー、スペースに集いに行こう!



はたをすればいいよ!

<予定>

- くるみさんお茶
- バスで21世紀の森へ
- 親女の森、つとむの広場へ
- お弁当
- バスでくるみさんに戻る
- 陣取、おやつ、宝さがし
- 夕飯の準備、夕飯
- 花火

家に帰った子ども達の顔にはやりとげに、満ち足りた表情があり、華も家族もひと安心でした。

毎日が特別な日だったらいいのにな〜

今度はいつあるの〜?

翌日に家族で宝探しを再現して、おうちがタカったようで!

堅穴式住居のこと、小学校で学んだ、くるみさんの特別な日、思い出さなかな?!



根本先生のお悩み相談コーナー vol.2

<今回のお悩み: 子どもに対し、甘やかしと寄りよりの線引きが難しい>

甘やかしと寄りよりの線引きという考え方のついての相談がいつの時代でも子育てのホウレンソウになっています。各論がいろいろあります(私の考え)この考え方のついては異和感を覚えています。子ども側の視座からみると「どちらも同じ」と思うからさ。

あなたのお子さんの命令はいくつですか。子どもは意志を持って生まれてきました。成長し続けなければならぬ人間としての運命です。たとえ親も又、成長にかかわる役割があります。見送っていかないとおぼろりません。目の前で命を落とす危険な意志を持った様な行動を見極めなければなりません。ひとつ言えるところはあなた自身が周囲の目や小情報に左右されずに心が解放され、原因の不明な何かを受けとめることにはなつかしいと思います。

コラム とちもち作 あくは挑戦

長い長い夏によく終わりが見え、秋の気配を感じられるようになってきましたね。くるみさんの坂の上の(バ)通りに植えてあるとちの木が、今年は豊作だったようで、9月初めごろから、たくさんの「とちの実」が落ちていました。現在小の長男と、くるみさん時代、よくとちの実を拾いながら通っていたのですが、今年はその長男が「とちもちを作りたい!!」とことで、とちもち作りに挑戦することに。このとちの実、実はとちも人気者で、コロコロと落ちてると、瞬間に拾われています。また、ぶ厚い殻をむくと、黄色い実が現われるのですが、とにかくアツが強い!!! (私のひと受け口にはにだけ、苦く、ペッペッと吐き出すほど。これから長男と私の長いあくはま、ヤアアア挑戦の挑戦が始まりました。10日間程、水にマシ(毎日新しい水に替り)、灰と湯を混ぜた灰汁に2晩寝かせます。うあ、どうだ!?と灰汁の中身を確認すると、ほとんどの実が溶けてグチャグチャに。家族は残念だよね」と私たちに伝えた。諦めきれない長男と私は、残ったわずかな実ともち米と混ぜ、形にしました。おそろおそろ食べてみると、無事にアツは抜け、香ばしい風味のとちもち、苦分の甲斐あり、忘れられない味となりました。ぜひ皆さんも挑戦してみてください!

編集後記

256号いかがでしたか。広報委員のE-ス、Mエンが遠方へ引越されることに...!! 「特別な日」の記事は、引越直前の慌ただしい中、書き残していった。渾身のコーナーです。Mエンありがとございます。広報委員、お手伝いしてくる方、随時募集中です!!

根本先生に相談したいお悩みがある方、広報委員までお寄せ下さい。